

# 豊川小だより

7 月号

豊川小ホームページ

<https://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakko.joho/kuritsu/toyokawa/index.html>

令和5年7月1日  
北区立豊川小学校  
校長 中村 順子

## 「自立」と「自律」

校長 中村 順子



「自立」と「自律」。音は同じですが、意味は異なります。この2つの言葉が表す行動を、5月と6月に行われた3つの宿泊を伴う学習での子供たちの様子から垣間見ることができました。

まずは「自立」です。6月23日・24日の1泊2日で実施した4年生の那須への移動教室。初めての宿泊学習ということもあり、うれしさの中にも不安が入り交じった子供たちでした。初めの頃には、荷物の管理や布団敷き、また入浴などをすべて自分ですることにとまどっている姿が見られました。しかし、同じ班や部屋の友達と声を掛け合いながら、一つ一つのハードルを着実に越えていく様子に、徐々に頼もしささえ感じました。家庭を離れて「自立」する経験を積んだことにより、たった2日間とはいえ、大きな成長を見せた4年生たちでした。同じことが、5月30日・31日に実施した特別支援学級4くみの「那須宿泊学習」でも見られました。4年生から6年生までの4くみ児童13人が、6校合同で同じ宿舎に泊まり、テーマパーク体験やキャンプファイヤー、ハイキングなどを行ったのですが、そこは普段から異学年での活動に慣れている子供たち、リーダーの6年生の指示の下、素早く整然と、またなかよく行動する様子は見事なものでした。これも立派な「自立」でした。

一方の「自律」です。これは5月16日～18日に実施した、5年生の岩井自然体験教室での出来事です。3日間の長丁場には、友達との小さな諍いもありました。しかし、冷静に自分の行動を振り返り、気持ちを整えることで、相手の気持ちを推し量ったり、周囲への配慮をしたりと、自分の気持ちを律する姿がありました。その「自律」の態度があったからこそ、その後には友達との絆、学年の絆をさらに強いものにすることができたのだと思います。さあ、最後の宿泊学習は、夏季休業中に実施する6年生の日光高原学園です。6年生も「自律」の二文字を心に、豊川小の最高学年としてさらに大きく成長していく3日間にするでしょう。期待しています。

もちろん宿泊学習だけでなく、日常の学習や行事からも、子供たちには「自立」と「自律」を着実に身につけています。夏休みを挟みながら1学期の教育活動は続いていきますが、教職員一同、子供たちがその学年にふさわしい「じりつ」を積み重ねていくことができる教育活動を、これからも進めてまいります。

### お話バイキング

6月13日(火)に、教員による「お話バイキング」を行いました。各教室にどの先生が来るかは当日のお楽しみで、それぞれの教員が、おすすめの一冊を読み聞かせしました。子供たちがとても楽しそうに話を聞く様子が見られました。

(図書担当 武智)



### 北区音楽鑑賞教室(6年生)

6月8日(木)に、北とぴあで東京都交響楽団による北区音楽鑑賞教室が行われました。楽器紹介の際には、子供たちがよく知っている曲も演奏していただき、自然とリズムをとっている子供たちの様子が見られました。生演奏の迫力を肌で感じ、鼓笛の発表へ向け、一人一人の意欲が高まっています。

(6年担任 廣瀬)

### 「ふれあい月間」の取組み

6月は「いじめ防止」に向けた取組を充実させる「ふれあい月間」でした。豊川小学校では、「Q-U」「心についてのアンケート」を実施し、いじめに悩む児童への早期対応を行いました。また教職員も「学校いじめ防止基本方針」を基にしたこれまでの取組みについて振り返りました。

児童のアンケートから、自分の思いをきちんと言語化して相手に伝えて解決していくコミュニケーションの難しさが浮かび上がってきました。毎日の学習で行われている伝え合いや話し合いを日常とつなげて問題を解決していくことが大切であると感じています。学校だけでなく各ご家庭でも、子供たちが自分たちの思いを伝えられるように、お子さんの話に耳を傾けていただきたいと思います。

いじめと判断される事案については、解決に向けて学校全体で組織的に対応していきます。

(生活指導主任 山根)